

教育と文化

みなで
考えよう
問題
人権・同和
No. 246

こんにちは赤ちゃん

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

「知らない人に教えるから、いつまでたつても差別がなくならないのではないですか」「そつとしておけば、差別は自然になくなるのではないですか」。これは、同和問題について知識のない人を赤ちゃんに例えた『寝た子を起こすな』という考え方です。「おとなしく寝ている子を無理に起こして、むずからせるようなことはしないほうがよい」という事なかれ主義の発想で、同和問題の解決を妨げる大きな要因の一つになっています。

また、『寝た子を起こす』という考え方は、誤った考えを助長するような動画が数多く存在しています。人は最初に出会った情報を信じる傾向があり、正しい知識がない場合、誤った情報を鵜呑みにしてしまいます。いまや寝た子はインターネットで起こされてしまいう時代なのです。誤った情報に惑わされて同和問題と『負の出会い』をしないために、正しい知識を得ることが必要です。

また、『寝た子を起こす』という考え方は、誤った考えを持つ人に正しいことを教えて、認識を改めてもらうということでもあります。そのままだけで済ませず、繰り返すことにならないように、繰り返し返してあげることが大切です。寝た子はいつか目を覚まします。できるだけ早い時期に、正しく起こしてあげることが大切なのです。

郷土の文化財

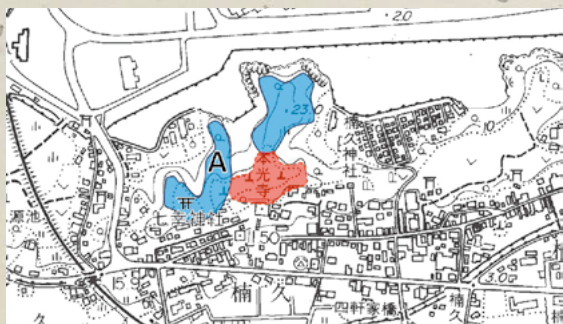
伊万里の城館跡シリーズ②

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 12662

楠久城塞跡

楠久城塞跡は、山代町楠久字下馬場に所在する中世の山城跡で、北に向かつて伸びる3つの丘陵上にまたがって所在していたと考えられます。

城跡は、楠久旧県道線から七幸神社参道などを通じて見学することができます。未舗装ですが、道があるため容易に見学できます。急斜面などには注意してください。



↑楠久城塞跡（青：遺構残存箇所、赤：墓地）